



平成22年10月15日



まつかわ百景 ④5

山ツツミ静寂(上片桐)

少し色づきかけた木々が秋の雰囲気を漂わせる。

- 2、3面 松川町音楽祭
- 4面 男と女いきいき講座
- 5面 まつかわ大学
- 6面 みんなで仲良く・町の文化財
スポーツ・情報・昔の写真を
募集します
- 7面 すばとと・こどもの詩・短歌
- 8面 視点・声・へんべん草

私たちは、大洲七楯神社奏楽保存会です。多くの先輩が育て継承してきていた、約200年以上といわれています。獅子、囃子の奏楽、獅子舞、おかも踊り、花踊り等を後世へ残し継承していくために努力しております。本年は祭りの当たり年です。どうか、神社の春秋の例大祭の奏楽奉納、飯田お練り祭りへの参加、そして10月30日、31日に開催される第13回全国獅子舞フェスティバル・飯田市への参加で獅子舞フェスティバルについて書かせていただきます。ここ南信州には多くの獅子舞が保存・伝承されていて特に屋台獅子と呼ばれる全国でもこの地区にしか無い珍しい型の獅子舞だそうです。伊那谷には、おおよそ80基とも言われ、当町内にも多くの屋台獅子が伝承されています。今回のフェスティバルには県内から35団体(屋台獅子・神楽獅子)県外から8団体、海外、台湾から1団体が参加され盛大に開催されます。30日は午後から飯田市公民館で獅子舞に

主張

全国獅子舞フェスティバル 参加に向けて

関するシンポジウムの他、第一回創作獅子舞コンクールが開催されます。31日、飯田市街地でそれぞれの団体の演舞が行われます。私たちも出演するかぎりには、他に恥じないような立派な演舞を披露したいと思い、神社の秋祭りが終わる次第、獅子頭、笛、大太鼓、小太鼓それぞれの部内で、練習を行い、総練習を三晩ほど行い、獅子の舞い手はもちろん、奏楽を奏でる者たちもひとつになつて当日を迎えたいと思います。今回おかも踊りに参加していた、皆さんは、6年前飯田のお練り祭りに出ていただいた皆さんで、当時は小学校6年生でしたが、現在は高校3年生で8名ほど参加をいただき大変感謝をしています。若くて美しいおかも踊りと優雅に舞う獅子舞を

大勢の皆さんに観覧していただきたいと思えます。秋晴れの下、皆さんの屋台獅子の見事な共演がみられることと思います。大勢の皆様にご出かけをいただけたらと思います。

佐藤 清(滝の沢)

集え!!町の音楽家!!

第21回 松川町音楽祭

9月12日(日)午後1時から町民体育館トレーニングルームを会場に、第21回松川町音楽祭が開催されました。

今年度は10団体が参加し、日頃の練習の成果を発表。

会場を埋め尽くした聴衆を美しい調べで魅了しました。

当日回収されたアンケートでは、各団体の演奏に対して温かい声援が寄せられました。会場の様子と合わせて紹介します。

第一部 合唱

①松川中学校有志合唱団

第一部合唱のトップバッターは松川中学校有志合唱団の皆さん。今年5月に結成されたばかりとは思えない素晴らしい歌声です。今年度NHK全国学校音楽コンクール課題曲の「I♥×××(アイラブ)」と「おかあさん」(作詞作曲:玉城篤)を披露。同コンクールに初出場し、県大会では銅賞を受賞しました。

「いつも上手くて昼休みの

練習だけとは思えないくらいでした。これからもがんばってください。」

「子どもでも大人でもない声心地よかった。失礼ながら思ったよりも歌声がきれいだったのでびっくりしました」



歌の仲間が集まった!

②松川コーラスクラブ

続いて、この音楽祭では欠かせないベテランの松川コーラスクラブが登場。今年度は「ドレミの歌」「エーデルワイス」「七つの子」を披露しました。

「歌い継がれる歌をこよなく愛し、みなさんが楽しんで歌っている姿に感動しました」

「母の声という感じ。きれいな

でホッとしました」

「今後とも地域に根ざした歌声を響かせていって下さい」

「懐かしい曲を一緒に口ずさむことができました」

「年数を重ねるにつれてよい声が増えてきます。これからもよいコーラスグループでいてください」

③松川中央小学校合唱団

3番手は松川中央小学校合唱団。4年生から6年生の総勢43名。学年もクラスも違うメンバーが週2回の朝練習で心ひとつにがんばっているとのこと。大きな口を開けて元気よく「たんぼぼ」「おおかみはみどり」「少年の日はいま」の3曲を歌いました。

「人数がともたくさんいてうれしく思いました。元気でよかったです。大人になっ



響くよ母の声

たときに思い出して口ずさめるような歌をたくさん歌ってほしいと思います」

「体全体で表現している様子に楽しく活動しているんだと思います。続けてほしいと思います」



♪お～牧場は～み～ど～り～

④女声コーラス桐

4番目はこちらもベテランの女声コーラス桐。

「夏の思い出」「秋の子」「YELL」と合唱曲の定番から最新ポップスまで、今年も更に円熟した歌声で聞かせます。

「美しい響きでした。言葉に乗せて、歌うこと大事にしていることが感じられました」

「高音の響きがともよかったです。聞き入ることができました。一緒に歌いたくなりました」

「私も歌いたいと思える曲を美しく、気持ちを込めて歌

われていました」

「きれいな歌声をありがとうございました。来年も楽しみにしています」

⑤松川東小学校

合唱の部最後5組目は松川東小学校のみなさん。全校生19名が少人数ながら力を合わせて歌っています。週3回の全校音楽では高学年が低学年に難しい歌詞の意味を教えたり、声の出し方のお手本を示して、曲作りに取り組んできました。

「学校坂道」「二部合唱 いきる」の2曲を発表しました。

「小さな子どももしっかりと大地を踏みしめて立っている様子ですばらしい」

「小さい学校の良さがとても出ていました。年齢の幅があるのにすばいね」

「学校坂道は東小の子ども達にあつた本当によい曲でした」



童謡から流行歌まで歌いこなす



洋楽をかつこよくきめる!

第2部演奏の最初は松川中央
小学校金管バンドのみなさん
[DANCING QUEEN]
[PLEASE PLEASE ME]
[SMOKE IN THE WATER]
と、洋楽の名曲をクールに演奏。
「一人一人が自信を持ってやっ
てくれていますよ」

第二部 演奏



全校生徒のこころをあわせて…

「SBCのコンクールに何
度も出ていますね。これから
も活躍を期待しています」



さあ、銀河鉄道の旅へ

「動きがあり練習を十分に積ん
でいた様子もあり。すばらしい演
奏だった」
「また一段と迫力が増してきま
したね。終わりがびしっと決まる
と気持ちいいですね」
「年数を重ねる度に上手になっ
ています。同じ曲だと成長がわか
ります」
「迫力あり、リズムにのってよく
音がでていました。パフォーマン
スもいいですね」
「年々人数が増えて、ノリノリの
曲良かったよ」

⑦松川北小学校金管バンド

続いて登場は松川北小学校金管
バンド。今年は6年生13名、5年
生12名で活動しています。翌週開
催の運動会にむけて行進曲を練
習してきました。選曲は「ファン
ファーレ第一番(作曲：藤田玄
播)」「銀河鉄道999」
「元気に演奏している姿に胸が
うたれました」



魅力的なパフォーマンス

「運動会の練習と重なって大変
ですが、力強い演奏が聴けました」
「リズムにのり、少人数でも迫力
のある演奏でした」
「多忙で思うように練習でき
なかったとのこと。それを吹き飛
ばすさわやかな演奏でした」
「少人数でよくがんばっています
した。先生の指揮をみてましま
していました」

⑧松川高校吹奏楽部

演奏の部3番目は松川高校吹
奏楽部が登場。「マーチ『春風』」学
園天国を演奏しました。部員が増
えたといえ8名というコンパクト
な編成。しかし、少人数とは思えな
い迫力ある演奏を繰り広げまし
た。あいさつ・礼儀・努力を大切に
して日々練習に打ち込んでいます。
「さすが高校生。それぞれの楽器
がしっかりとなくて、一人一人が
エンターテナー。みんなを引き込
みましたね。カンバレ!」



3年生に「ありがとう」

「久しぶりの出演ですね。お帰
りなさい!さすが高校生。テクは
オールライト!」
「感動しました。ぜひ後輩にも
引き継いでいってください」
「最後のあいさつがとても気持
ちよかったです」

⑨松川中学校吹奏楽部

松川中学校吹奏楽部は本年度
総勢57名の大所帯で登場です。こ
のステージが3年生は最後の演
奏ということで、後輩1・2年生
は感謝の気持ちを込めて共演。「喜
歌劇『微笑みの国』セレクション」
「ファンキーモンキーベイビ
ー」
「『涙』を演奏しました。
ズの『涙』を演奏しました。
「音色がそろっていて深み(厚み)
のある演奏でした。曲想もよかつ
たです」
「長い歴史のなかで培われた音
だと思えます。今後とも練習に励
んで下さい」
「毎年のことですがすばらしい



次は20周年に向けて…

の一言です」
「日々の練習があるから美しい
演奏になるのしょうね」
「中学生とは思えないくらい
の迫力でした。かつこよかったです」

⑩松川吹奏楽団
演奏の部トリを飾ったのは今
年結成10周年を迎えた松川吹奏楽
団のみなさん。
今年ブレイクした歌謡「また君
に恋してる」スーザ・マーチカー
ニバル(ラテンビート調)を見事
に演奏しました。
「とてもすばらしい演奏で、鳥肌
がたちました。これからもずっと
続けていってほしい」
「大人のバンドって感じですね。
ウキウキするBAND大好きです」
「仕事で疲れている中での練習
でもいつも楽しくて素敵です」
「さすがに好きでされているみな
さんだけあって楽しかったです。ま
た色々な機会で聴かせてください」

第1回男と女いきいき講座 9月28日PM7時 「前向きに輝いて生きる」 〜真心の実践から〜

今年度第1回目の今回は、飯田市伊賀良公民館長の平田睦美さんを講師にお迎えしました。以前は全国教育委員会の副会長を務めたこともある平田さん。現在は飯田では唯一の女性公民館長として日々、地域の課題に取り組んでいらっしやいます。



講師の平田睦美さん

ニコニコ素敵な笑顔の平田さんですが、自分自身について「努力しないと一人前にならない私」とも語ります。「睦美さん、努力・努力をすれば何でもかなうよ：」小学校時代の恩師の言葉を励みに歩んできた人生。「前向きに輝いて生きる：素直に受け止め嫌なことがあっても『エイッ』と切り替えて」

農家の4人姉妹の末っ子に生まれ、幼少の頃から農業の手伝い。四季折々の故郷の自

然風景は「こころの原点」：特に忘れられないのは夕焼けそれは本当にありがたい出会いでした。

「懐かしさは心の豊かさ」地域の子ども達にも、もし将来地元を離れたとしても、ずっと故郷の情景を愛し続けてほしい、と願う平田さん。地域のすばらしさを再発見し、より良くする提案のきっかけ作りとして、伊賀良公民館では「ふるさとゲームウォーキング」を実施しています。地域についてのクイズを解きながら、地域を子ども達が歩きます。参加者の満足感を一番大切に、企画を行っているとのことでした。



熱心に聞き入る参加者

私生活では、父を介護し看取りました。子が親の最後を真心込めて世話すること、それが次の世代に繋がることを

実感しました。父母の命日を家族で大切にしています。

「これからの時代は、モノからこころへ」「現代は（言わば）乱世、心の持ち方でいかに毎日の充実が違ってくるか：」聴講者の一人一人が、真心の実践、人を信じること、

第2回まつかわ大学

「意外と知らない？健康のお話」

講師 中原秀臣氏

8月29日午後、1時30分より町民体育館トレーニングルームにて第2回まつかわ大学が開催されました。

講師はテレビなどのコメントテーターとしてもおなじみの中原秀臣氏。

月初めに人間ドックを受けH・マークが多く付き保健師さんから改善指導をもらった私としては是非とも参考にすべくペンを握りました。



講師の中原秀臣氏

毎日の感謝の大切さを再確認したことでしょう。

お礼の言葉を述べた女性団体連絡会の橋場むつみ会長の提案により、一同で「赤とんぼ」を斉唱し、平田さんをお送りしました。真心のハーモニイが会場を包みました。

日本人と比べて体格の良い外国人、その中でも米国の健康に対する取り組みのお話。

米国ではその頃の日本を見習うべく30年前から「ヘルシーピープルプロジェクト」に取り組み、実現可能な数値目標を設定して国と国民で実行。ガン死亡率や心筋梗塞を格段に減らしているのに、目標とされた日本は反対に右肩上がりに増加してしまつたそうです。そのためかどうか「健康日本21」を立ち上げ、今年の3月まで10年間取り組みましたが、効果は無く、生活習慣病が増えています！という結果に。

健康のためには、良い病院に行つて名医に見てもらい病気を治してもらうのではなく毎日の生活習慣と生活環境の



熱心に耳をたかむけます

良さ（水・空気・食物が良い）で病気になるのが一番！と感じました。現に平均寿命のベスト3も東京・京都・神奈川から長野・福井・熊本に変化（ちなみに男性）

又、テレビなどの健康番組に振り回されず、心筋梗塞予防にニコチンを含むタバコを減らし、大腸ガン予防に一日350グラムの野菜や果物を摂りましょう、など健康番組をよく見る私にとっては耳の痛いことが次々と。マスコミの情報には踊らされないようにしたいものです。

私が印象に残ったことに、「平均寿命」ではなく「健康寿命」としたらどうか？という問いかけがありました。寝たきりであるより健康で生きたい。誰もが願う事ですが、まずは野菜を食べ軽い運動を始めてみようかな。

問題
考える
みんな
で
権考
人
を
仲良
く

「クラスみんなで」

松川中2年4組

松川中学校2年4組は、2年に上がる時にクラス替えを行ったこともあり、4月当初はややよそよそしい姿も見られました。その中で学級目標を考えました。子ども達の中から出てきた意見は、
・誰かが悲しい思いをしない、悲しい思いをさせてもすぐに謝る。
・みんなが笑顔で仲の良いクラス、助け合えるクラス、何事にも一生懸命取り組むクラス、思いやりがあつて気のきくクラス。

・1人1人意見や考えとか少し違うけど、みんながわかり合つてケンカのない明るいクラス。
・笑いたいときは笑い、泣きたいときはみんなに支えてもらつて、相手（互い）の気持ちかわかる。

ここからもみんなの学級への願いが込められていました。そして決まった学級目標は、

「Family 40人40色よっしゃー やつたるでー」でした。「家族のように信頼しあい、支え合える、それでいて一人一人個性を持った自分と友達を認め合い、本気になつて取り組もう。」という意味が込められています。そして、日々の生活や学習をこのクラス中心として過ごしていく中で、お互いを知るために授業で『相棒捜査報告書』と銘打ち、クラス替えがあつてまだなかなか話したことのない人とも、交流を深めてもらいたい、ふだん話す人の意外な一面を知ったり、あまり話したことのない人との意外な共通点を知ったりすることを目標とした授業を行いました。これは、プリントに書かれた20個の項目に当てはまると思われる人のところへ行き、じゃんけんをし、勝つた時にその項目を質問し、相手がその質問にはいと答えてくれたらプリントに名前を記入し、全ての項目にクラスメイトの名前を書き入れていくというものです。その時の子ども達の感想です。

今日は4時間目の授業に参観がありました。私はあんまりクラスの人と話すことがな

くほとんど決まつた人としてか話しませんでした。でも、今回のゲームでクラスのほとんどの人と話すことができました。でも、自分で考えた質問にあんまり同じ考えを持つ人がいなくてなかなか全部うまりませんでした。でも最後にA君が「YES」みたいなことを言ったので、何とか終わりました。そして、前に貼つてあるマグネットを移動させて完了しました。でも終わっていない人がいたので、どんどん話しかけてクリアする人が出てきました。こーゆー交流からクラスの人と話をしていけるようになりたいと思います。

こうした経験からも生徒自身、相手との触れ合いや認め合いが生まれてきました。そして先日の松風祭。音楽会の直前の合唱練習の最後に生徒が円陣を組むといい、教室の中で男女関係なく一つの輪に自然となつていった姿に学級目標の生徒の願うクラスにどんどんと近づき、日々の生徒の成長がありました。人を思いやり、心を配り、心で感じる生徒たちにより育つていったほしいと思います。

松川町の文化財

(373) 埋蔵文化財(268)

文化財シリーズ

北の城(1)大島郷中央に位置する北の城

教育委員会 酒井幸則

北の城は大島城の北方およそ1400メートル、新井東南部の段丘縁部に天然の溪谷と段丘崖を利用して構築された中世の城館跡です。新井から国道を南下すると林叟院の手前で相ノ沢橋を渡りますが、この橋梁部分が自然地形を利用した北側の堀跡で、西の自動車修理工場・果樹園・宅地・寺地を含むJRの軌道敷取りまでが城域です。

城跡は東西150メートル、南北80メートルの範囲に二つの曲輪を持つものと見られてきました。西側を除く三方は急崖となつて裾を下方面へ広げ、特に東面は天竜川の氾濫原当時は河原に臨んでいます。東端の本曲輪と見られていた部分は周囲に土塁を構え、ほとんどそのままの形で残されていました。国道の通過により消滅してしまいました。現在、下方に腰曲輪の一部が残っているに過ぎません。本曲輪とみられた部分の西には大きな堀切りを越えて二の曲輪があり、その東半分は自動車修理工場となり、ほとんど旧態は残していませんが西半分は果樹園と大島氏の宅

地になっています。この曲輪の西側は相ノ沢を利用した堀切りがあり城域の西限を示していました。今は殆ど埋められています。踏切より北側、旧道が通っている辺りがその痕跡と見られます。

昭和45年以降、国道の改良工事に伴つて本曲輪を中心に二次にわたる発掘調査が実施されました。本曲輪からは中国明代龍泉窯産の青磁を含む各種陶磁器類をはじめとして鉄器類、砥石などが出土しています。

北の城より出土した陶磁器類は大島城出土のものよりかなり古いことが判明しています。このことは、ここが大島郷の中央部分であることから、古くは大島氏の平時の居館であつたことを示しているものとみられます。

地方旧記には、北の城は大島城の支城であり、武田氏の大島城楳取に伴い城主大島為重はここ北の城に移つたことが記されています。こうした文献の記述や最近判明したことなど、今後、北の城について記していきたいと思ひます。

スポーツ

北関東ブロック
ジュニア武術
太極拳交流大会

第6回北関東ブロックジュニア武術太極拳交流大会が群馬県の高崎市中央体育館にて行われました。

女子初級長拳
4位 木下瑞歩
少年少女カンフー
太極拳クラブ
(中央小6年)



本館行事

〈街頭あいさつ運動〉

期日 11月1日(月)
場所 町内各所・学校周辺
時間 7時〜8時

〈高齢者講座〉

「高齢者の料理教室」
期日 11月2日(火)
場所 中央公民館

〈松川町駅伝大会〉

時間 午前10時〜
講師 竹下則子氏
期日 11月7日(日)
時間 午前8時 開会式
午後9時 スタート
会場 上片桐町営グラウンド
スタート・ゴール
その他 沿道での熱い応援を
お願いします。



昨年の駅伝大会

〈なかよしクラブ〉

期日 11月2日(火)
会場 おひさま
内容 保育園の先生のお話
期日 11月16日(火)
場所 町内
内容 親子で製作

〈体験講座〉

「押し花教室」
期日 11月13日(土)

地区館行事

場所 中央公民館
時間 午前10時〜
講師 生田押し花の会

上新井地区公民館

〈パドミントン大会〉

期日 11月21日(日)
場所 町民体育館

名子地区公民館

〈区民演奏会〉

期日 11月6日(土)
〜7日(日)
場所 町民体育館

上片桐地区公民館

〈上片桐地区文化展〉

期日 10月30日(土)
〜31日(日)
場所 上片桐地区公民館改
善センター

〈絵手紙講座〉

期日 11月9日(火)
23日(火)
場所 上片桐地区公民館

その他の行事

〈男女共同参画フェスティバル2010〉
期日 11月13日(土)
場所 諏訪文化センター
集合 中央公民館へ8時

昔の写真を募集します!!

〜昔の生活の様子から今を考える〜

本年度の公民館研究集会では、「まつかわまち 昔の写真特集」を予定しています。そこで、松川町公民館と松川町記録写真の会では、皆さんのご家庭にある昔の写真を集めます！ぜひ中央公民館までご応募ください!!

第48回 松川町公民館研究集会

「まつかわまち 昔の写真特集」

期日：平成23年1月23日(日)
時間：午後1時30分〜
場所：町民体育館・中央公民館



(写真：松川町記録写真の会より)

(1)用途	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館研究集会の学習資料として ・公民館報での紹介 ・公民館ロビー等での展示 ・町や各地区での文化祭展示 ・記録写真の会での資料保存 <p>※作品の掲載・展示に際しましては、写真提供者のお名前・団体名を明記します。 ※写真は複写を取らせていただきます。</p>
(2)応募方法	<ul style="list-style-type: none"> ・応募者氏名、住所、連絡先、撮影年月日(わかる範囲で)、撮影した写真についてのコメントを記入して、データもしくは現像したものを提出ください。(メール可。FAX不可)
(3)応募締切	平成22年11月30日(火)
(4)提出先 (問い合わせ先)	<p>中央公民館 TEL:36-2622 FAX:36-6620 Mail:arai.n@matsukawa-town.jp 担当:公民館主事 新井</p>

ついでに詩

二人つきり

東小2年 清水おとね
わたしは おかあさんと
いっしょにいるのが
大好き

このあいだ
足のけがをみてもらいに
おいしゃさんにいったよ
そのあとおかいものもしたよ
日記しようと おかしと
ジューズもかってもらったよ
二人だけだと
いもうとやおにいちちゃんもい
ないから
しずかだし 楽しい
だから
おかあさんと二人だけって
好き

かわいいアズマヒキガエル

東小2年 松下はるか

わたしは
アズマヒキガエルが大好き
だつて目がクリクリ
もつてみると
くくくとわらつていようように
体をうごかすところが
かわいいよ
ミルワームをパクパク食べるも
のかわいい
いまは5ひきになったので
とても楽しそう
マーちゃんが
アーちゃんの上ののることもあ
る
わたしは
そんなアズマヒキガエルが
大好き

短歌

千年杉の雫

田村三好 (宮本)

猛暑日の続く狭間に降りきたる
雨に活きづく人も田畑も

千年の杉の雫を浴びたくて
雨の晴れまの参道のぼる

杉群の傾りを覆う十葉の花が
雨滴を受けつつ弾む

十余年たてばそろそろ待ち切れぬ
亡夫が招ぶなり夜明けの夢に

単調に鳴りつづける保冷庫の
ふと止む如き終りもあらん

滝場にて講師の酒井先生より説明を聞いて老若男女27名探訪に出発。中央道沿いの道を10分位歩き少し登った所に蚕玉様があり養蚕のさかんな頃多くの人が御参りに来たことでしょう。さらに登ること5分、

すぽっと

歴史めぐりの感想

宮澤 正秋

二又になったお手引松と稲荷様の祠に着く。参道を下り滝場へ、現在は小さな堰堤があり、昔は修業する滝で身を清めたようです。樹林帯を30分

な祠があります。左右に数体の石碑が鎮座して御嶽の行者様や甲斐駒ヶ岳にある摩利子天(軍さの神)が祭られています。今日巡った所は片桐神

登り高原山に、富士浅間社とあり富士山に行けないので祠を設けて御参りしたようです。さらに急坂を登り御嶽山頂へ、御嶽の社があり、中央に小さ

社に集められているとのこと
です。近年訪れる人もなく荒
れていた各々神様周辺や参道
を草刈して道案内をされた湯
沢さんの配慮で、全員が霊場
探訪出来たことに社会部の長
として御礼申し上げます。酒
井先生におかれましても感謝
いたします。本日のコースを
整備してみたらどうかという
意見が出ました。先人達の想
いに半日満喫出来たと思いま
す。

主催：松山町中央公民館 共催：松山町記録写真の会

なつかしい風景

こんな写真を探しています

なつかしい人々



町の古民具 ⑥ 最終回 「戦時中のスタンプ帳」

戦勝記念のスタンプが日付入りで数多く押されている。
デザインや色も様々で、南京攻略 北京入城などの文字
も見られる。



声

古町文化祭を見学して

岡 本 淳 一 (古町北部)

古町文化祭が9月19日(日)と20日(月)の2日間行われました。各出品作について感想を述べます。

椿の花タペストリー(壁に掛ける飾り)は9名が出品し、指導者は後藤淳子さんです。椿の花を中央に位置させ、布製で上品な作品でした。バッグも後藤さんの指導で、地味な

色あいですが機能的でした。

東京木目込み人形は橋場久子さんの指導で、女性、トラ、ウサギ、子ども、道成寺などで

した。道成寺は能のシテの乱拍子でした。これらはきれいで可愛らしい作品でした。

ふろしき包みは磯山美紀子さんの作品で、落ち着いた色あいの作品でした。

丹羽まみかさん(小4)の習字「生きる力」は力強い書体で、基本もよくできていました。

松下正明さんのお祭の写真は、飯田のおねり祭と御柱の写真で、祭のにぎやかさの伝わる作品でした。

書(かな)は大島みどりさんの作品で、明治天皇の御歌と若山牧水の短歌で、繊細な筆使いでした。

その他、福与周作さんの「落ちない輪」。岩崎敏宏さんの桜鱒の剥製。大島悠暉さんの押し

花。松下彰次さんの盆栽「岩ひば」。置き物(木製など力作でした。

松尾邦子さんの墨絵の掛け軸は、「菊、蘭、梅、竹」を描いたもので、いわゆる四君子という作品でした。

他に出品者は不明でしたが、戦前の白黒写真を四ツ切大に伸ばした作品が多く出品されていました。昭和14年八幡神社

祭典時の写真、昭和15年の青年団、昭和17年の徴兵検査時の写真など集合写真ですが、時代の証言として貴重な作品でした。

文化祭は古町区の皆様の交流の場として、大切な行事であると思えました。

視点新シリーズ

開始のお知らせ

「視点」では今月まで60回に渡り、資料館のご協力により昔懐かしい暮らしの道具「古民具」を取り上げてまいりました。江戸時代から明治・大正・昭和まで、当時の生活に思いを馳せるきっかけとなりましたら幸いです。

次回からは、新シリーズ「石仏」が始まります。古来より住民の暮らしを見つめてきた素朴な石仏。町内各地を巡り、移ろう季節の中に佇むその姿をご案内致します。

2022年

今年もこの記事を書いて居る時点で二十世紀梨の選果場が終了しました。今年の二十世紀梨は春先の凍霜害によるサビの発生や、カメムシが大量発生した事による吸害、夏場の乾燥による小玉傾向などの影響もあり、昨年に比べてだいぶ少ない出荷量だと感じました。今年は、早生のリングゴでも夏の猛暑で日焼けをおこしたり、果実に色がつく前に果肉が熟してしまうなどの障害が多く発生したそうで、年ごとに異常気象がひどくなっている事を実感させられ、果物づくりの難しさを痛感しています。この数年、町のそこかしこで果樹園を伐採したり、放置された田んぼや畑が目立つようになってきました。農業の担い手も高齢な方が多くもうやめたいという話もよく聞かれます。これからの農業を担う若手が増えなければ「くだもの里」の名前も無くなってしまうような気がします。

求ム！若手農業者！
大久保康司

公民館報
「まっかわ」
第 564 号
平成22年10月15日

発行所 松川町公民館
責任者 塩澤 三佳
編集人 公民館編集部
Tel 36-2622
e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp
飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷(株)